

わたしたちの **乳** しぼり 事例②

飼養形態 繋ぎ飼い (ニューヨークタイストール)

搾乳牛頭数 42頭

体細胞数 7.7万/ml リニアスコア : 1.6 リニアスコア2以下割合※ : 75%

※リニアスコア2以下 : 本当に乳房炎ではない牛の割合 目標は70%以上

農場の特徴 (紹介)

プレディッピングを取り入れて、基本的な搾乳手順を励行している。前搾りの後、ヨード系の殺菌剤で手を洗っている。牛床には衛生資材 (クリーンサポート) を散布し、特に汚れる牛の牛床にはもみがらを敷いている。カウトレーナーをこまめに調整し、除糞も行っているため、牛体及び牛床はいつもきれい。乳房炎の疑いがある牛は必ず乳汁検査を実施している。

特に注意している点 (ポイントとなる事項)

- ①「牛床をきれいに保つこと」を常に心がけている。
- ②搾乳後、すぐに横臥すると乳頭口から細菌が侵入する可能性が高くなる (乳頭口が閉じるまで15~20分を要する)。そこで、全頭カウキーパーを使用して搾乳し、搾乳終了後もしばらく立たせるためにつけたままにしている。

